

(様式2)

学校関係者評価報告書

(愛媛県立新居浜東高等学校)
学校番号 (4)

評価実施日		令和7年2月18日 (火)	
委員	氏名	所属等	備考
	井田 仁美	学校評議員 (保育園園長)	
	塩崎 珠美	学校評議員 (民間企業取締役)	
	今西 靖	学校評議員 (税理士事務所代表)	
	高橋 裕二	学校評議員 (元市消防本部消防長)	
	紙本 正文	学校評議員 (民間企業取締役社長)	
	秦 竜吾	学校関係者評価委員 (中学校長)	
	古川 拓哉	学校関係者評価委員 (PTA会長)	
	石井 佐智子	学校関係者評価委員 (スクールライフアドバイザー)	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 進路指導 ○ 高校3年間の成績でアピールできない生徒への進路保障も考えてほしい。 (2) 生徒指導 ○ 社会人の基本として明るく元気な挨拶の指導をして欲しい。また、東高の特徴は皆勤の多さだと思うのでそこもこだわってほしい。 (3) 健康安全指導 ○ 交通事故が数件あるが、大きな事故の発生はなかったか。	本人の希望とマッチングした進学指導をしていきたい。より一層面接を重視したい。 コロナ以降、皆勤を求めることは難しくなっているが、学校に登校して学習することは基本であるので指導していきたい。挨拶に関しては教員の率先垂範を意識させたい。 重大な事故はなかった。交通安全に関して、ルールやマナーの徹底を常に呼びかけている。ヘルメット着用の仕方の指導もしている。

(4) 特別支援教育

○ 中途退学や転学、不登校の状況はどうか。

中途退学1名、転学7名であり、別室登校の対応もした。学年、教育相談課を中心に対応している。今年度は昨年度よりも減少している。

○ 同じクラスでも生徒同士のコミュニケーションが取れていない生徒が増加している。体育科と普通科の生徒のコミュニケーションの取り方を今から考える必要がある。

そのことについては心配している。どのような手立てがあるか、考えたい。

(5) 保護者・地域等との連携

○ 新学科の設置にも関係することだが、アスリートを作る指導者についてどのように考えているか。

県へはトップレベルの指導者の配置を要請している。地域の専門的な指導者に関しては県内でも最も充実させている学校の一つであり、地域の方々の協力を得ている。

○ 地域のボランティア活動への取組が充実している様子が伺えたが、その活動のメディア等へのアピールが弱い。

また、ボランティア証明書の発行を考えてはどうか。

ホームページだけでなく、市の記者クラブ等への連絡を活用していきたい。他校で実施している学校があるので、調べて対応したい。